

環境調査結果のお知らせ

令和8年10月13日14時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害とされるプランクトンは確認されませんでした。
海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン
	深度	水温	塩分	溶存酸素	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)	
A ガラク (6.9m) 【14:49】	0	26.6	33.7	7.0	2,400
	2	26.7	33.8	7.0	3,600
	5	26.8	33.9	6.5	3,400
	10	26.8	33.9	6.4	2,900
	底層 14.5	26.8	33.9	6.4	-
B 馬の背 (3.8m) 【14:57】	0	26.8	33.7	7.1	2,850
	2	26.8	33.8	7.3	4,900
	5	26.8	33.8	7.1	7,400
	10	26.8	33.9	6.6	4,200
	底層 22	26.9	34.0	6.0	-
C 大谷漁港内 (3.1m) 【15:30】	0	26.9	33.6	6.5	1,800
	2	26.9	33.6	6.5	3,100
	5	26.7	33.7	5.8	2,000
	底層 9.5	26.6	33.7	4.8	-
D 湾奥ブイ (4.5m) 【14:37】	0	26.9	33.7	6.9	5,200
	2	26.9	33.7	7.0	11,600
	5	26.7	33.8	6.2	4,800
	10	26.7	33.8	5.8	5,400
	底層 16	26.8	33.9	5.8	-



A: ガラク

B: 馬の背

C: 大谷漁港内

D: 湾奥ブイ

珪藻
最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

0
×

● 1~9

○ 10

100

1,000

10,000

100,000

300,000

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。
基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上

●

警戒基準の値以上

●